
受講された方の添削購入（申し訳ありませんが、添削だけの購入はできません）

前年から受講されるかたは先ず、動画や資料である程度勉強してください。

添削は1月～6月の半年間で進めることをお勧めします。

また、当然ですが受験申込み書の添削も受け付けます。

添削は講座を受講された方だけです。添削だけのご購入はできません。

通常の添削は以下：残す方が多いので6回まで、2回目の購入は構いませんが1回目の購入分が全て終わってからです。纏めての購入は不可。添削料金は昨年と同じです。

添削 2 回(2 回×2 往復)	10,400 円＋消費税＝11,440 円 (2,850 円(税込)/回)
添削 4 回(4 回×2 往復)	20,000 円＋消費税＝22,000 円 (2,750 円(税込)/回)
添削 6 回(6 回×2 往復)	28,500 円＋消費税＝31,350 円 (2,612 円(税込)/回)

令和 9 年度から 1 往復の添削もあります。

「2 往復は不要、毎回異なる問題を解答したい」という要望が増えてきました。そのため、一往復の添削もご用意しています。初受講の方にはあまりお勧めしませんが、受講あるいは受験のご経験があるかたはこちらもどうぞ。

添削 2 回(2 回×1 往復)	8,000 円＋消費税＝8,800 円 (4,400 円(税込)/回)
添削 4 回(4 回×1 往復)	18,000 円＋消費税＝19,800 円 (4,950 円(税込)/回)

問題文は令和 7 年建設必須: I-2 です。

I-2 第 5 次社会資本整備重点計画では、3 つの中長期的な目的として「国民の安全・安心の確保」「持続可能な地域社会の形成」「経済成長の実現」が掲げられている。このうち「経済成長の実現」については、国際競争力強化等に資する社会資本の重点整備や地域の基幹産業の振興を支える基盤整備などの取組が進められ、近年は、観光の活性化、製造業等の国内回帰や配置・集積の見直し、DX・GX 分野等の成長産業への構造転換などに対応する社会資本整備の重要性も増している。このような状況を踏まえ、以下の問いに答えよ。

(1) 経済成長の実現を目的として、我が国の国際競争力の強化や地域産業の振興に必要な社会資本整備を進めるに当たり、技術者としての立場で多面的な観点から 3 つの技術課題を抽出し、それぞれの観点を明記したうえで、その技術課題の内容を示せ。(※)なお、本設問における「技術課題」には、「経済成長の実現を目的とする社会資本整備」における制度上の課題も含まれるものとする。(※)解答の際には必ず観点を述べてから技術課題を示せ。

(2)前問(1)で抽出した技術課題のうち、最も重要と考える技術課題を 1 つ挙げ、その技術課題に対する複数の解決策を示せ。

(3)前問(2)で示したすべての解決策の実行により期待される波及効果と専門技術を踏まえた懸念事項への対応策を示せ。

(4)前問(1)~(3)の業務遂行において必要な要件を、技術者としての倫理、社会の持続性の観点から述べよ。

技術士 第二次試験 模擬答案用紙 (記入漏れに注意)

受験番号		技術部門
問題番号		選択科目:
答案使用枚数	枚目 枚中	専門とする事項:

1.	経	済	成	長	を	支	え	る	社	会	資	本	整	備	の	技	術	課	題					
1.1.	広	域	物	流	の	観	点																	
	国	際	競	争	力	を	高	め	る	に	は	、	港	湾	、	空	港	、	高	速	道	路	、	
	鉄	道	貨	物	な	ど	を	結	ぶ	物	流	網	が	機	能	す	る	必	要	が	あ	る	。	
	一	方	、	港	湾	背	後	道	路	の	渋	滞	、	老	朽	化	し	た	橋	梁	、	災	害	時
	の	寸	断	が	あ	る	と	、	輸	送	時	間	と	コ	ス	ト	が	増	え	、	企	業	活	動
	を	阻	害	す	る	。	し	た	が	っ	て	、	国	際	物	流	拠	点	と	生	産	拠	点	を
	結	ぶ	幹	線	ネ	ッ	ト	ワ	ー	ク	を	強	化	し	、	平	常	時	の	効	率	性	と	災
	害	時	の	代	替	性	を	両	立	さ	せ	広	域	物	流	の	強	化	を	図	る	こ	と	が
	技	術	課	題	で	あ	る	。																
1.2.	産	業	立	地	支	援	の	観	点															
	製	造	業	の	国	内	回	帰	や	D	X	・	G	X	投	資	を	受	け	入	れ	る	に	
	は	、	用	地	、	道	路	、	上	下	水	道	、	電	力	、	通	信	、	工	業	用	水	を
	一	体	で	整	え	る	必	要	が	あ	る	。	し	か	し	、	個	別	施	設	の	整	備	だ
	け	で	は	、	立	地	後	の	交	通	混	雑	、	排	水	負	荷	、	地	域	環	境	へ	の
	影	響	が	生	じ	る	。	し	た	が	っ	て	、	産	業	団	地	、	物	流	拠	点	、	エ
	ネ	ル	ギ	ー	供	給	、	周	辺	交	通	を	総	合	的	に	計	画	し	、	地	域	産	業
	の	成	長	を	支	え	る	基	盤	を	構	築	す	る	こ	と	が	技	術	課	題	で	あ	る
1.3.	地	域	資	源	活	用	の	観	点															
	観	光	や	農	林	水	産	業	な	ど	地	域	産	業	を	伸	ば	す	に	は	、	地	域	
	内	外	を	結	ぶ	交	通	、	駅	前	空	間	、	情	報	通	信	基	盤	が	必	要	で	あ
	る	。	一	方	、	利	用	見	込	み	を	過	大	に	し	て	整	備	す	れ	ば	、	維	持
	管	理	費	が	地	域	の	負	担	と	な	る	。	し	た	が	っ	て	、	地	域	資	源	、
	需	要	、	既	存	施	設	の	活	用	可	能	性	を	把	握	し	、	過	大	整	備	を	避
	け	な	が	ら	地	域	産	業	を	支	え	る	社	会	資	本	を	選	択	す	る	こ	と	が

技術士 第二次試験 模擬答案用紙 (記入漏れに注意)

受験番号		技術部門
問題番号		選択科目：
答案使用枚数	枚目 枚中	専門とする事項：

技	術	課	題	で	あ	る	。																	
2.		最	重	要	課	題	と	解	決	策														
2.1.		最	重	要	課	題																		
	最	も	重	要	な	技	術	課	題	は、	広	域	物	流	の	強	化	で	あ	る	。	理		
	由	は、	物	流	が	滞	れ	ば、	原	材	料	調	達、	観	光	移	動、	災	害	時				
	の	物	資	輸	送	に	影	響	し、	国	際	競	争	力	と	地	域	産	業	の	双	方	を	
	損	な	う	た	め	で	あ	る	。															
2.2.		物	流	拠	点	と	幹	線	道	路	の	接	続	強	化									
	港	湾、	空	港、	工	業	団	地、	物	流	施	設	と	高	速	道	路、	直	轄					
	国	道	を	結	ぶ	ア	ク	セ	ス	道	路	を	重	点	的	に	整	備	す	る	。	ボ	ト	ル
	ネ	ッ	ク	交	差	点、	狭	小	区	間、	重	量	制	限	の	あ	る	橋	梁	を	抽	出		
	し、	交	差	点	改	良、	車	線	運	用、	橋	梁	補	強	等	広	域	物	流	の	強			
	化	を	行	う	。	こ	れ	に	よ	り、	輸	送	時	間	の	ば	ら	つ	き	と	迂	回	を	
	減	ら	す	。																				
2.3.		災	害	に	強	い	物	流	網	の	確	保												
	災	害	時	に	物	流	機	能	を	失	わ	な	い	よ	う、	代	替	ル	ー	ト	と	防		
	災	機	能	を	確	保	す	る	。	道	路	輸	送	だ	け	に	依	存	せ	ず、	港	湾、		
	鉄	道	貨	物、	内	航	海	運	と	の	連	携	を	進	め	る	。	橋	梁	耐	震	化、		
	法	面	対	策、	港	湾	施	設	の	耐	震	強	化、	道	路	啓	開	計	画	を	進	め		
	る	。	関	係	者	が	通	行	可	否	や	復	旧	順	位	を	共	有	し、	緊	急	物	資	
	と	産	業	物	流	を	両	立	さ	せ	る	。	こ	れ	に	よ	り、	広	域	物	流	の	強	
	化	が	進	む	。																			
3.		波	及	効	果	と	懸	念	事	項	へ	の	対	応	策									
3.1.		波	及	効	果																			
	広	域	物	流	が	強	化	さ	れ	れ	ば、	輸	送	時	間	の	短	縮、	在	庫	負	担		

技術士 第二次試験 模擬答案用紙 (記入漏れに注意)

受験番号		技術部門
問題番号		選択科目:
答案使用枚数	枚目 枚中	専門とする事項:

の	低	減	、	企	業	立	地	の	促	進	が	期	待	で	き	る	。	地	域	で	は	農	水
産	物	や	観	光	資	源	の	販	路	が	広	が	り	、	雇	用	創	出	に	つ	な	が	る
3 . 2 .			地	域	環	境	へ	の	懸	念	と	対	応										
	物	流	交	通	が	増	え	る	と	、	騒	音	、	振	動	、	排	出	ガ	ス	が	生	活
環	境	に	影	響	す	る	懸	念	が	あ	る	。	対	応	策	と	し	て	、	物	流	ル	ー
ト	を	生	活	道	路	か	ら	分	離	し	、	沿	道	環	境	対	策	、	時	間	帯	分	散
を	行	う	。																				
3 . 3 .			過	大	投	資	へ	の	懸	念	と	対	応										
	需	要	を	過	大	に	見	込	む	と	、	維	持	管	理	費	が	増	え	、	将	来	世
代	の	負	担	と	な	る	懸	念	が	あ	る	。	対	応	策	と	し	て	、	需	要	予	測
を	複	数	ケ	ー	ス	で	行	い	段	階	整	備	を	採	用	す	る	。	既	存	施	設	の
改	良	で	効	果	が	得	ら	れ	る	区	間	は	新	設	を	避	け	、	費	用	対	効	果
と	ラ	イ	フ	サ	イ	ク	ル	コ	ス	ト	を	確	認	す	る	。							
4 .		倫	理	及	び	社	会	の	持	続	性												
4 . 1 .		技	術	者	倫	理																	
	技	術	者	は	、	整	備	効	果	を	過	大	に	示	さ	ず	、	費	用	、	環	境	影
響	、	残	る	リ	ス	ク	を	根	拠	に	基	づ	き	説	明	す	る	。	特	定	企	業	や
地	域	だ	け	に	利	益	が	偏	ら	な	い	よ	う	、	公	共	性	と	公	平	性	を	確
認	す	る	。	安	全	性	、	環	境	保	全	の	ト	レ	ー	ド	オ	フ	を	示	す	。	
4 . 2 .		社	会	の	持	続	性																
	経	済	成	長	を	支	え	る	社	会	資	本	は	、	将	来	も	維	持	で	き	る	形
で	整	備	す	る	。	新	設	に	偏	ら	ず	、	既	存	施	設	の	活	用	、	更	新	、
集	約	を	組	み	合	わ	せ	る	。	行	政	、	企	業	、	住	民	、	管	理	者	が	情
報	を	共	有	し	、	地	域	経	済	と	生	活	環	境	を	両	立	さ	せ	る	国	土	基
盤	を	形	成	す	る	。																	

良い添削例(ロックオン講座の添削例です)

全体評価

合計点:27/40

全体として、設問要求に沿った良い答案です。

「経済成長の実現」というテーマに対し、広域物流、産業立地、地域資源活用の3観点で整理できています。

特に、最重要課題を「広域物流の強化」とし、物流拠点と幹線道路の接続、災害時の代替性確保へ展開した点は、問題文との対応が明確です。

一方で、設問(2)の解決策が2つで終わっている点は惜しいです。

必須問題では、最重要課題に対して3つ程度の解決策を示す方が安定します。

また、設問(4)の倫理では、説明責任と公平性は書けていますが、公衆の安全・健康・福利を最優先する姿勢を明示すると、さらによくなります。

良いところ

設問(1)の3観点はよく分かれています。

「広域物流の観点」「産業立地支援の観点」「地域資源活用の観点」は、国際競争力、成長産業、地域産業の振興という問題文の要求に対応しています。

特に、1.1の「港湾、空港、高速道路、鉄道貨物などを結ぶ物流網」は、建設部門全般の視点が出ています。

道路だけに寄らず、港湾、空港、鉄道貨物まで含めた点は評価できます。

1.3の「利用見込みを過大にして整備すれば、維持管理費が地域の負担となる」も良い記述です。経済成長を目的とする社会資本整備であっても、過大投資のリスクを意識できています。

設問(3)も良いです。

「地域環境への懸念」と「過大投資への懸念」は、解決策を実行した結果として生じる副作用になっています。

元の課題の再掲ではなく、答案として評価しやすいです。

改善したほうが良いところ

一番の改善点は、設問(2)の解決策が2つしかないことです。

内容は悪くありませんが、必須問題では3つ程度ある方が安定します。

現在の解決策は、

物流拠点と幹線道路の接続強化
災害に強い物流網の確保

の2つです。

どちらも「物流ネットワーク整備」に寄っています。

3つ目として、例えば「物流情報基盤の整備」や「官民連携による物流拠点運用の高度化」を入れると、技術、強靱化、運用・制度の切り口が分かります。

また、設問(2)の中でトレードオフをもう少し明示したいです。

答案では、設問(3)と設問(4)で環境影響や過大投資に触れています。

しかし、設問(2)の解決策内では、物流効率化と沿道環境、国際競争力強化と地域生活環境、速達性と災害時の冗長性の調整がやや弱いです。

コンピテンシー評価

専門的学識:良

建設部門全般に関する理解はあります。

港湾、空港、高速道路、鉄道貨物、道路、橋梁、港湾施設、法面对策、道路啓開など、複数分野をまたいで書けています。

また、DX・GX投資、地域産業、物流拠点、費用対効果、ライフサイクルコストなども、問題文に沿って使えています。

専門用語の羅列ではなく、課題や解決策の根拠になっています。

ただし、制度面の記述はやや薄いです。

問題文では制度上の課題も含むとされていますが、答案では制度・事業手法・整備優先順位の決定方法があまり出ていません。

問題解決:良

課題抽出は良いです。

広域物流、産業立地、地域資源活用という3つの観点は、多面的で重複も少ないです。

最重要課題の選定理由も明確です。

「物流が滞れば、原材料調達、観光移動、災害時の物資輸送に影響する」という説明は、国際競争力と地域産業の双方につながっています。

一方で、解決策は2つであり、やや不足します。

また、2つとも物流ネットワーク整備に近く、運用、制度、データ活用、民間連携の切り口が不足しています。

トレードオフの記述も、設問(2)では弱いです。

設問(3)で補えてはいますが、解決策の中でも「物流効率化と生活環境」「新設整備と維持管理負担」の調整を示すと、問題解決の評価が上がります。

評価:良

設問(3)はよく書けています。

波及効果として、輸送時間短縮、在庫負担低減、企業立地促進、販路拡大、雇用創出を示しています。

問題文の「経済成長の実現」とつながっています。

懸念事項も適切です。

「物流交通が増えると、騒音、振動、排出ガスが生活環境に影響する懸念」は、解決策の副作用として自然です。

「需要を過大に見込むと、維持管理費が増え、将来世代の負担となる懸念」も、社会資本整備では重要です。

ただし、対応策はやや短いです。

例えば、沿道環境対策では、環境基準、交通量調査、騒音・振動モニタリングなどの評価方法があると、より専門技術を踏まえた内容になります。

技術者倫理:良

「整備効果を過大に示さず、費用、環境影響、残るリスクを根拠に基づき説明する」は良い記述です。

技術者倫理を定型文で終わらせず、説明責任として書けています。

「特定企業や地域だけに利益が偏らないよう、公共性と公平性を確認する」も、今回の問題に合っています。

一方で、「公衆の安全、健康及び福利を最優先する」という明示がありません。

また、環境影響と安全性のトレードオフは書いていますが、どのような基準で判断するかは少し弱いです。

コミュニケーション:良

構成は分かりやすいです。

設問(1)から設問(4)まで順番に整理されており、読み手が追いややすい答案です。

文章も大きな破綻はありません。

ただし、設問(3)の「雇用創出につながる。3.2.」は、段落の切れ目が不自然です。

答案用紙では見出しを改行して、読みやすくした方がよいです。

また、「広域物流の強化を行う」「広域物流の強化が進む」は少し重複感があります。

内容は伝わりますが、表現を少し整理すると読みやすくなります。

文章上の具体的な添削

「平常時の効率性と災害時の代替性を両立させ広域物流の強化を図ること」

→「平常時の効率性と災害時の代替性を両立する広域物流網を構築すること」の方が、課題として明確です。

「橋梁補強等広域物流の強化を行う」

→「橋梁補強等を行い、物流上のボトルネックを解消する」が自然です。

「これにより、広域物流の強化が進む」

→ 直前と重複します。

「これにより、災害時にも物流機能を維持できる」とした方が効果が明確です。

「安全性、環境保全のトレードオフを示す」

→「安全性、物流効率、環境保全の相反関係を示し、根拠に基づき整備案を選定する」とすると、判断基準が見えます。

総合評価

27/40

良い答案です。

特に、設問(1)の観点設定と設問(3)の懸念事項は評価できます。

一方で、設問(2)の解決策が2つにとどまり、切り口もやや近いです。

3つ目の解決策を加え、トレードオフの調整を明確にすれば、さらに安定した答案になります。

良くない添削例(ロックオン講座ではあり得ません)

今回の解答は、設問(1)～(4)で構成された必須問題に対する解答です。

コンピテンシー評価

専門的学識:可

問題解決:可

評価:可

技術者倫理:可

コミュニケーション:可

総合評価:27/40

全体評価

全体として、問題文の趣旨はある程度理解できています。

ただし、内容が全体的に浅く、もう少し深掘りが必要です。

経済成長を支える社会資本整備について書けていますが、技術者としての視点が十分とはいえません。

もっと専門性を高める必要があります。

良いところ

広域物流、産業立地、地域資源活用という観点は悪くありません。

また、物流拠点、幹線道路、災害対応、地域環境などにも触れられています。

設問には一通り答えています。

文章も大きく崩れてはいません。

改善したほうが良いところ

全体的に具体性が不足しています。

もう少し技術的に書く必要があります。

課題と解決策のつながりが弱いです。

最重要課題に対する解決策として、より論理的に整理してください。

また、トレードオフの記述も不十分です。

安全性、経済性、環境性などをもっと意識してください。

設問(3)も少し弱いです。
波及効果や懸念事項について、もう少し詳しく書く必要があります。

設問(4)は一般論になっています。
倫理と持続性について、もっと具体的に書いてください。

各設問の評価

設問(1)

観点は3つありますが、内容がやや広いです。
もっと問題文に即して書く必要があります。

設問(2)

解決策が不足しています。
もう少し多面的に書いてください。

設問(3)

波及効果は書けていますが、説得力が弱いです。
懸念事項への対応も、もう少し専門的にしてください。

設問(4)

倫理と持続性は書けていますが、定型的です。
技術者らしい視点を加える必要があります。

文章の評価

文章は読めますが、やや説明不足です。
言葉の使い方も、もう少し正確にしてください。

総評

この答案は、方向性は間違っていないです。
しかし、全体的に浅く、具体性と専門性が不足しています。

もう少し問題文を読み込み、技術課題、解決策、リスク、倫理を論理的につなげてください。
このままでは高評価は難しいです。

この添削が悪い理由

この添削は、受講者さんにとって不親切です。

「具体性が不足」「論理的に整理」「もっと専門的に」「一般論」などの指摘が多いですが、**解答文のどの部分をどう直すのかが示されていません。**

例えば、「解決策が不足しています」と言うだけでは、受講者さんは何を追加すればよいか分かりません。

「物流情報基盤」「官民連携による物流拠点運用」「需要予測に基づく段階整備」など、追加候補を示す必要があります。

また、良い点も「悪くありません」「一通り答えています」程度で、何が評価できるのかが伝わりません。これでは受講者さんのモチベーションも上がりにくいです。

悪い添削の典型は、**厳しいのに具体性がない添削**です。

受講者さんが次に何を直せばよいか分からないため、学習効果が低くなります。